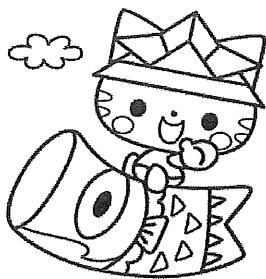


2023.5.1 みゆりんえん



きゅうしょくだより

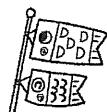
NO. 2



新緑が鮮やかな季節になりました。新年度が始まって1ヶ月となりました。新しい環境にも慣れ、給食やおやつもお友達と一緒に楽しく食べられるようになってきました。これから季節は、色鮮やかで美味しい旬の食べ物がたくさん出回りますので、給食にも取り入れていこうと思います。

5月5日はこどもの日

こども達みんなが元気に育ち、大きくなれたことをお祝いする日です。こどもの日の過ごし方をご紹介します。よければ参考にしてください。



柏餅を食べる

園庭にも柏の木が一本植えてあります。柏の木は新芽が出るまで古い葉が落ちないから、子孫繁栄の縁起を担ぐと言われています。



菖蒲湯(しょうぶゆ)に入る

菖蒲は強い香りを持っていて、邪魔を払うと言われています。家庭で菖蒲湯をつくるときは、菖蒲を10束ほどにまとめ、42~43℃ほどのお湯につけます。



鯉のぼりを飾る

鯉は流れが速い川でも元気に泳ぎ、滝を登って上り魚です。そんなたくましい鯉のように、こども達が元気に大きくなることを願う意味が込められています。園庭もそれを作りたて鯉のぼりを持ち帰ります。お家で飾ってみてください。

おやつ

こどもは胃袋が小さく、消化吸収能とも発達途中ですから、3度の食事だけでは必要な栄養がとれないかもしれません。1日1回(~2回)時間を決め、食事ごとにまずはお腹がすく程度の量のおやつを提供します。

「栄養の補給」「水分の補給」「食べる樂しみ」と、おやつの持つ役割は大切です。こどもにとってのおやつは小さな食事といえます。

給食室の前の廊下に、その日の給食を展示しています。

お皿に盛りつけてある分量は、3歳児にじめ組の食べている量と同じです。おり帰りの際に是非ご覧ください。

そら組クッキング

そら組が苺の収穫をして、収穫した苺のヘタ取りのお手伝いをしてもらいます。おやつの苺ジャムーストに使います。また、えんどう豆のさや取りのお手伝いも予定しています。おやつの豆ごはんおにぎりにしていただきます。

